



社協更木だより

第6号
平成12年10月15日発行
編集・発行
各務原市社会福祉協議会
更木支部編集委員会



盛況で有益だった 介護講習会



更木支部長（市社会教育委員）
三和敏夫

昨年、ご協力ありがとうございました。
今年も開催しました。

介護講習会や会合（各イベント事業等）に頻回にもかかわらず、多数にご参加を下さり

を賜つて、更木支部の地域介護講習会を7月6日、稲羽西福祉センターで午後の猛暑

を7月6日、稲羽西福祉センターで今年も開催しました。前もって各自治会長さんらのご協力のおかげで午後の猛暑

厳しい中を約130名程ご出席下さいました。今年はすでにスタートした介護施設紹介を受け、家庭での在宅介護をへ

ました。今年はすでにスタートした介護施設紹介を受け、家庭での在宅介護をヘルパーさんに頼らず家庭も恐がらず少しでも介添できる実技講習を、模擬患者さんを対象にして参加

る人を対象にして参加

者が交換して意見交換を行なった。後半は各町内の社協に報告するイベント（近隣ケア・老人会・子供会等の活動）を報告

しました。今後は「在宅介護」を主



7月6日、稲羽西福祉センターにおいて、地域介護講習会を開催しました。在宅介護支援センターの役割について説明を受けたあと、自宅でできる入浴、洗髪、床ずれ防止などを学び、次に参加者が介護の実際を体験しました。

援センター（さくら）の活動を寸時説明をうけた。若輩な私の統括ですが、皆様の倍なるご支援とご鞭撻をお願いしつつ粗文になりましたがご挨拶にかえさせていただきます。

よろしくお願ひ致します 平成12年度社協更木支部役員名簿

役職名	氏名	備考
支部長	三和敏夫	社会教育委員
副支部長	柴山三郎	連合自治会長
会計	坪内伸代	民生児童委員
推進委員	太田一朗	"
"	中村篤子	"
"	宮崎通夫	老人会代表
理事	宮崎一郎	自治会長
"	間宮美一	"
"	伊神憲義	"
"	岩井登喜雄	"
"	二宮嘉隆	"
"	小石原明男	"
"	加藤秋雄	"
"	多和田義昭	"
"	安田一郎	"
"	松井利夫	"
"	多和田久義	民生児童委員
"	杉山秀子	"
評議委員	神野智恵子	近隣ケア・長
"	間宮一枝	"
"	武藤美幸	"
"	郡山ナチ子	"
"	佐合幸江	"
"	鹿島田稟子	"
"	山内ふじ江	"
監事	巖喬峯	民生児童委員
"	神野廣海	"

わが国は、いまや人生80年時代を迎えて、いまから25年後には4人に1人が高齢者という超高齢社会を迎えようとしています。本市の高齢化率は、13.8%と全国の16%に比べて最も高齢化が進んでいます。更木支部は市内で最も高齢化が進んでいます。低くなっていますが、迎えようとしています。

更木支部の 福祉の現状

(H12.4.1現在)

- 人口 8,375人 (135,044人)
- 高齢者人口 (65歳以上) 1,449人 (18,619人)
- 寝たきり老人 34人 (320人)
- 独居老人 39人 (893人)

高齢化率 17.6% (13.8%)

()内の数字は、全市

●目標年度の高齢者数と要介護高齢者●

65歳以上の高齢者	平成10年 17,422人
	平成16年 22,486人
在宅の要支援・要介護高齢者	平成10年 1,204人
	平成16年 1,434人
施設入所・入院者	平成10年 393人
	平成16年 656人

かかみがはら高齢者総合プラン(各務原市)

あとがき

残暑お見舞い申し上げます

平素から、社協運営に何かとご支援をいただいている。更木支部は広い面積、又老齢人口の高い地域で、隅からまなく細かく気配りは困難です。しかし、会員各位のご助言やご協力で不充分ながらも活動させていただけているでしょうか。

「更木支部だより」(社協の新聞)は8月発行予定でした。早々に原稿をいただけた方には申し訳ないですが、沢山の原稿をちょうだいしてレイアウトにうれしい悲鳴(悩み)です。よっていただけた順番に載せていただき、ストックしてある原稿は次回(12月)に繰り越しさせていただきます事をご了解下さい。

猛暑の中を各自治会組織で社協への会員募集や会費の徴収活動には大変お世話をかけ誠にありがとうございます。

詳しいことは、後日ご報告致します。

更木支部長 三和敏夫

4月15日 三井山子供会の活動状況

三井山官舎は、約290所帯からなり年々単身赴任者が多くなってきましたが、他の地域と同様に官舎には1年生から6年生まで、元気いっぱいの71名の子供達がいます。

子供会の主な活動は、毎月の資源回収、年4回の美化活動、4月は新1年生の通学路の体験登校や歓迎会、7月は地域の人達との交流としてバザーや三井山祭りに、12月はクリスマス会、2月は6年生を送る会などの活動を季節ごとに行っています。

これらの行事は、6年生を中心に話合い、準備をしながら進められています。

特にクリスマス会は、寒さに負けずゲームやプレゼント交換に楽しく賑やかなひとときを過ごしています。又、美化活動は低学年は官舎の周辺を、中学年は通学路の一部を、高学年は那加大東町の地下道の清掃を、それぞれ実施しています。手間も時間もかかり大変ですが、みんな一生懸命清掃をし、子供達だけでなくそこを通行する人達みんなが気持ち良く歩かれているものと思われます。

これからも地域の人達とのふれあいを大切にしつつ積極的に様々な活動に取組んで行きたいと思います。

三井山子供会会長 平松要子



六年生の美化活動の様子（那加大東町地下道にて）

約束して楽しい半天を終了しました。次回11月19日に又元気なお顔を見せて頂ける事を楽しみにして頂きました。我々世話を手作りの食事会を開きました。途中（頭の体操）（体を少し動かしてのゲームのマッチ）を全員で大声で歌いました。ハッピーバースデイでは4月から6月までの方にベースディメッセージと心ばかりのプレゼントで喜んでいただきました。



6月11日 三井北町一丁目ひなげしの会

代表 鹿島田稜子

梅雨に入り、紫陽花が美しく咲く頃、6月11日（日曜日）三井北町集会場に於いて11時半より、自治会主催のふれあい活動が開催される日である。昨今、地域に於いての会議も開催され、親睦のある自治会運営が実現されています。

今年はなかなか珍しい和太鼓を聞き、また太鼓に触れてみると言う体验コーナーもあって、子供も大人も（特に大人）とても嬉しそうでしたね。その他、ビンゴゲーム、生活に密着したクイズ等と盛り沢山の企画にお互いに我を忘れ夢中になり楽しい時を過ごしその傍らでは、前日に買ってきた材料でお母さんがおにぎり、バーベキュー、焼きそば等の準備に甲斐なく又、子供達は鉄板を焼いてスタンバイしているお父さん方、とても美味しいバーベキュー、焼きそばをサービス精神一杯で作っていました。

子供も大人も充分にふれあう事が出来たと思います。只、最近では核家族化と少子化現象で子供達の少なくなるのが気になりました。



5月18日 ハイキングで交流あんずの会活動

三井町近隣ケア代表 武藤美幸

みんなの地域での身近な福祉活動

上半期の活動紹介

8月6日 青少年育成事業

ふれあい活動 三井東町 中村篤子



6月10日 みんなであそぼまいか会

小佐野町第1代表 太田一朗

高齢化が進み、介護保険制度の問題がやかましく国民へ浸透する毎日です。そんな中私達の小佐野町第一自治会に、「みんなであそぼまいか会」と、とてもユニークな名称の「ふれあいサロン」が、平成12年1月に誕生しました。

活動の起点は町内の中央にあるコミュニティ集会所を活動場所にしております。月2回第2、第4の水曜日午前9時から午後4時までです。

活動内容、その他については、ボランティア皆さん方の知恵、熱意ある指導を頂き又、社協更木支部長さんの温かいご支援などを頂戴してなごやかに進めております。活動始めてからはや、11回目を迎えることが出来、協力者、ボランティアの人々も心から喜び合い「頑張ろう」と、互いに助け合い励まし合っております。終了後は必ずミーティングを開き、その日の反省と、次回の計画について話し合い、労をねぎらい、「次回に、またね」と言って解散しております。

“1日の主な活動内容は”

- 1、9時迄に会場内の設定。
- 2、ティータイム、（コーヒー、又はお茶）
- 3、お経、参加者全員、先頭（老人会長、有志の方）
- 4、自由時間（折り紙、将棋、碁、卓球、もの作り…新聞紙・広告等を利用）、健康チェック（血圧測定、その他）
- 5、昼食、（おにぎり、家庭の方も）
- 6、ゲーム遊び、又は軽い健康体操、ボケない小唄など歌う。
- 7、自由時間、園児、児童参加の時は、子供を中心にしてみんなで楽しく遊ぶ。

午前、午後の活動内容はその日の参加者の顔ぶれで異なることもあります。又、すばらしいニュースもあります、参加者の最高年齢（95才）太田利一さんは、木材を斧小刀で駒形を作り各駒字もきちんと筆書きで一切手作りの駒を二組も作成、その驚きと偉大さにびっくり、全員拍手で讃美称えました。

“参加者の声”

- ☆ありがたい。よろこんでいる。
- ☆待ちどおしい。みんなに会えて嬉しい。

“見学者の声”

「高齢者、ボランティア、小学児童、一体となり楽しくおやりになっておられ羨ましいわ、私の町にも作りたいわ」など、ありがたいご意見を頂いております。

参加者も30名を越える日が多くうれしい限りです。

